

木川りか、高鳥浩介、久米田裕子、辻本与志一、川野邊渉、佐野千絵、宇田川滋正、建石徹

「高松塚古墳壁画修理施設における生物対策について」

木川りか、佐野千絵、喜友名朝彦、立里臨、杉山純多

「高松塚古墳、キトラ古墳石室内の微生物分離株のアルコール系殺菌剤資化性試験」

高鳥浩介、久米田裕子、木川りか、佐野千絵「高松塚古墳石室および周辺部由来カビの薬剤に対する馴化」

高鳥浩介、高鳥美奈子、久米田裕子、木川りか、佐野千絵

「高松塚古墳石室および周辺部由来カビの温度帯による生理的性状—発育性および色調変化—」

木川りか、佐野千絵、喜友名朝彦、立里臨、杉山純多、高鳥浩介、久米田裕子、森井順之、早川典子、川野邊渉「キトラ古墳の微生物調査結果と微生物対策について（2009）」

松岡秋子、島津美子、邊牟木尚美、影山悦子、山内和也

「タジキスタン国立古代博物館が所蔵するソグディアナ出土壁画の保存修復

—カライ、カフカハ遺跡出土壁画KH 7-1の事例—」

佐藤香子、高林弘実、柴勃隆、丁淑君、張建林、岡田健

「唐代節愍太子墓過洞に描かれた人物像壁画の彩色材料と制作技法に関する調査」

吉田直人、佐野千絵、石崎武志

「展示公開施設の館内環境調査報告—平成20年度—」

## 第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会報告書（©美07-09-1/1）

2009年12月6日から8日に東京国立博物館平成館大講堂で開催した国際研究集会（企画情報部担当）の報告書を下記の内容で刊行した。なお、本書から英文を除いた内容が平凡社から『“オリジナル”の行方—文化財を伝えるために』として市販されている。



『“オリジナル”の行方—文化財アーカイブ構築のために—』（A5判、456頁）

### 【目次】

鈴木規夫「刊行にあたって」

シンポジウムの記録

〔基調講演1〕

塩谷純「モノより思い出、思い出よりモノ」

〔セッション1 モノ/“オリジナル”と対峙する〕

何傳馨「二点の中国古書蹟における光学的調査—懷素『自叙帖』と孫過庭『書譜』」

マシュー・P・マッケルウェイ「室町時代狩野派扇面画の“オリジナル”—宋画との関連」

浅野秀剛「肉筆浮世絵と浮世絵版画—浮世絵研究者にとってのオリジナル」

岡塚章子「写真—オリジナルという認識の共有」

松本透「現代美術とオリジナル」

討議— 司会：相澤正彦、山梨絵美子

〔セッション2 モノの彼方の“オリジナル”〕

タイモン・スクリーチ「おじいさんの斧—日本文化史におけるオーセンティシティと再生

—宇治橋を例に—」

津田徹英「『諸説不同記』と『現図』胎蔵曼荼羅」

シェリー・ファウラー「燈明寺『六』観音像をさぐる」

飯島満「古典芸能の伝承と変遷—人形浄瑠璃文楽の場合」

綿田稔「雪舟というオリジナルな存在—作家論の功罪」

⑥刊行物 Area20

皿井舞「仏像の修理・修復—サンフランシスコ・アジア美術館の脱活乾漆像をめぐる」

清水重敦「更新のオーセンシティブ—木造建築におけるオリジナル」

討議二 司会：勝木言一郎、森下正昭

(基調講演2)

加藤哲弘「オリジナルとその保存—文化財アーカイブの可能性と限界」

(セッション3 “オリジナル”を伝えること)

マーク・バーナード「オリジナルに戻る—金剛経の保存」

赤尾栄慶、マーク・バーナード、中野照男「鼎談 敦煌文書とアーカイブ」

山梨絵美子「サー・ロバート・ウィット・ライブラリーと矢代幸雄の美術研究所構想」

江村知子「遊興文化の残映—彦根屏風の光学調査と情報化」

田中修二「屋外彫刻調査保存研究会の活動について」

総合討議 司会：佐野みどり、田中淳

塩谷純「あとがき」

Message

Statement of Intent

Program

Organizing Committee, etc.

Abstracts

Ho Chuan-hsing, An Optical Investigation into Two Masterpieces of Ancient Chinese Calligraphy: Huai-su's "Autobiography" and Sun Kuo-t'ing's "Essay on Calligraphy"

Matthew P. McKelway, Muormachi Period Kano Fan Paintings and Song Dynasty "Originals"

Timon Screech, Grandfather's Axe: Authenticity and Recreation in Japanese Cultural History  
The Case of Uji Bridge

Sherry Fowler, Locating Tōmyōji and its "Six" Kannon Sculptures

Mark Barnard, Getting back to the "original": the conservation of the Diamond Sutra

## 『博物館資料の保存環境』 出版のための準備 (⑥保06-09-1/2)

大学における「博物館に関する科目」の改正案に対応して、博物館・美術館保存担当学芸員研修資料から保存環境に関する部分を抜き出し、副教材としての利用を見込み出版する予定である。読者層としては、博物館学取得希望の大学学部生、教員、学芸員を想定している。本年度は編集会議を行い、この教材が取り扱う内容、構成及びレイアウトに関する検討を行った。来年度は、以下の章立てで教材を執筆し、出版する予定である。

第1章 総論

第2章 温湿度

第3章 光と照明

第4章 大気汚染・室内汚染

第5章 生物被害とIPM

第6章 災害の防止と対策